

CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver
(仮称)ハイウェイテラス・京丹波

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年追補
■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境								2.9
1 音環境				3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-	
1 室内騒音レベル				3.0	1.00	-	-	
2 騒音影響対策				-	-	-	-	
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能				3.0	0.81	-	-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.19	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	
1.3 吸音				3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境				2.2	0.35	-	-	2.2
2.1 室温制御				2.6	0.50	-	-	
1 室温				3.0	0.50	-	-	
2 室温変動・室温制御				-	-	-	-	
3 外皮性能				1.0	0.17	-	-	
4 ゾーン別制御性				3.0	0.33	-	-	
5 換気・湿度制御				-	-	-	-	
6 室温変動				-	-	-	-	
7 室温変動・湿度変動				-	-	-	-	
8 室温変動				-	-	-	-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式				1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.73	-	-	
1 昼光率				-	-	-	-	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 昼光利用設備				3.0	1.00	-	-	
3.2 グレア対策				-	-	-	-	
1 グレア対策				-	-	-	-	
2 昼光制御				-	-	-	-	
3 グレア対策				-	-	-	-	
3.3 照度				-	-	-	-	
3.4 照明制御				3.0	0.27	-	-	
4 空気質環境				3.9	0.25	-	-	3.9
4.1 発生源対策				5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質				5.0	1.00	-	-	
2 化学汚染物質				-	-	-	-	
3 化学汚染物質				-	-	-	-	
4 化学汚染物質				-	-	-	-	
4.2 換気				2.0	0.30	-	-	
1 換気量				3.0	0.50	-	-	
2 自然換気性能				-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	-	-	
4 換気設備				-	-	-	-	
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御				5.0	0.50	-	-	
全館禁煙								
Q2 サービス性能					0.30			3.7
1 機能性				4.2	0.40	-	-	4.2
1.1 機能性・使いやすさ				4.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性				-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	-	
3 バリアフリー計画				4.0	1.00	-	-	
京都府福祉のまちづくり条例に適合								
1.2 心理性・快適性				4.2	0.30	-	-	
1 広さ感・景観				4.0	0.41	-	-	
2 リフレッシュスペース				3.0	0.18	-	-	
3 内装計画				5.0	0.41	-	-	
インテリアパース等で事前に検証等								
1.3 維持管理				4.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				4.0	0.50	-	-	
維持管理用機能を確認できるよう計画								
3 維持管理設備				-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.7	0.31	-	-	3.7
2.1 耐震・免震				3.8	0.48	-	-	
1 耐震性				4.0	0.80	-	-	
建築基準法の25%増の耐震性で計画								
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				4.1	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				4.0	0.23	-	-	
品確法等級2級								
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				5.0	0.23	-	-	
補修必要間隔30年で計画								
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				5.0	0.08	-	-	
厨房系統にSUS製ダクト、屋外露出部にガルバリウム鋼管を採用								
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				5.0	0.15	-	-	
給水管にSGP-VA、HIVP、排水管にVPを採用								
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.2	0.19				
1	空調・換気設備		3.0	0.20				
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20				
3	電気設備		3.0	0.20				
4	機械・配管支持方法	耐震クラスAを採用	4.0	0.20				
5	通信・情報設備	メタルケーブル及びwi-fiによりLAN構築を行っている	3.0	0.20				
3 対応性・更新性			3.0	0.29				3.0
3.1 空間のゆとり			4.0	0.31				
1	階高のゆとり		-	-				
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.13	4.0	1.00				
3.2 荷重のゆとり			2.0	0.31				
3.3 設備の更新性			3.0	0.38				
1	空調配管の更新性		3.0	0.17				
2	給排水管の更新性		3.0	0.17				
3	電気配線の更新性		3.0	0.11				
4	通信配線の更新性		3.0	0.11				
5	設備機器の更新性		3.0	0.22				
6	バックアップスペース		3.0	0.22				
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30				2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30				2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30				3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	町内産木材の使用	5.0	0.50				
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性								3.4
LR1 エネルギー			-	0.40				3.5
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30				3.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20				3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50				
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光パネル設置	4.0	0.50				
3 設備システムの高効率化		高効率機器等の採用	4.0	0.30				4.0
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		ERR=14.5%	4.0					
集合住宅の評価								
4 効率的運用			3.5	0.20				3.5
4.1	モニタリング		3.0	0.50				
4.2	運用管理体制	設計段階から維持管理運営と協議	4.0	0.50				
LR2 資源・マテリアル			-	0.30				3.5
1 水資源保護			3.8	0.15				3.8
1.1	節水	節水コマ、擬音装置の採用	4.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.6	0.60				
1	雨水利用システム導入の有無	散水に雨水利用	4.0	0.67				
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33				
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.63				3.4
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07				
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24				
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20				
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	タイル、断熱材	4.0	0.20				
2.5	持続可能な森林から産出された木材	町内産木材の使用	5.0	0.05				
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	再利用できるユニット部材の利用	4.0	0.24				
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22				3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用	告示対象外の建材及びF(☆☆☆☆)の採用	5.0	0.32				
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68				
1	消火剤		-	-				
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50				
3	冷媒		3.0	0.50				
LR3 敷地外環境			-	0.30				3.2
1 地球温暖化への配慮			3.6	0.33				3.6
2 地域環境への配慮			3.2	0.33				3.2
2.1 大気汚染防止			-	-				
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.67				
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.6	0.33				
1	雨水排水負荷低減		-	-				
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33				
3	交通負荷抑制	町営バス停留所の設置、駐車施設の確保	4.0	0.33				
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミの集団回収、分別を計画	4.0	0.33				
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33				3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40				
1	騒音		3.0	0.50				
2	振動		-	-				
3	悪臭		3.0	0.50				
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40				
1	風害の抑制		3.0	0.70				
2	砂塵の抑制		-	-				
3	日照障害の抑制		3.0	0.30				
3.3 光害の抑制			3.0	0.20				
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70				
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30				